



1 例えゴロを打っても一塁まで全力で走る。「最後まで全力でがんばる」姿勢は、彼らのプレーの随所に表れる。2 試合中は保護者が一番の応援団。我が子の活躍には一丸となって全力で喜ぶ。3 実戦形式の練習スタイルは、投手も例外ではない。ブルペン投球ではなく、実際に打者に向かって投げ込むことで、投球感覚を磨いていく。4 サインがなくても、隙あらば積極的に次の塁へと仕掛ける。その判断を考える過程こそが、桂スポの強さと言える。5 練習中에서도試合中에서도、声出しは最も基本的なチームプレー。試合に出ることができない選手も、しっかりと声を出してチームに貢献。

平成 23 年

○県大会ドコモカップベスト 16



平成 21 年

○第 25 回桂川町長旗少年野球大会優勝

平成 16 年

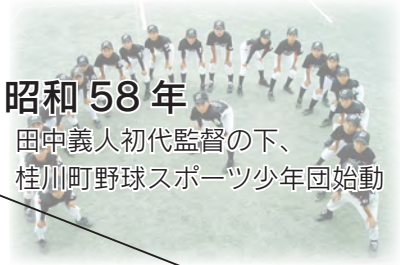
○第 20 回桂川町長旗少年野球大会優勝

平成 10 年

田中隆行監督が、2代目として就任

昭和 58 年

田中義人初代監督の下、桂川町野球スポーツ少年団始動



桂スポ活動の軌跡

平成 18 年

○県春季大会第 3 位
○県スポーツ少年団大会第 3 位
○第 22 回桂川町長旗少年野球大会優勝



平成 9 年

○第 13 回桂川町長旗少年野球大会優勝



平成 22 年

○県学童大会ベスト 16
○福北学童少年野球大会優勝

平成 14 年

○スポーツ少年団福岡県大会初出場 第 3 位

昭和 59 年

○第 1 回桂川町長旗少年野球大会開催